

Sources of Identity

THE SOCIAL SCIENCE • CONCEPTS AND VALUES

(小学校・高学年)

足利市立北郷中学校 三 村 文 雄

以下に紹介しようとする教科書は、人間の生き方を根本的に教えようという試みから編集されたものです。原書は500ページにもおよぶ 大なもので、心理学、社会学、文化人類学、政治学、地理学、経済学、などのそれぞれの分野の専門家たちが最先端の研究の成果を生かしながら、人間としての生き方を考えさせるのに適切な題材を提供していくという構成になっていて、我が国の教科のいくつかを包含したような内容がもりこまれております。一読して、実にアメリカ的な試みの感がありますが、幅広く、しかも、専門的な内容がわかりやすく解説され、また、子供たちの発達段階にふさわしい形で設問されているので、我が国における教科、道徳、特活等、すべての領域の教育課程を考えるにあたって十分に参考になるものと思われます。しかし、ここにその全容を紹介することは不可能ですので、全容の目安として目次、本文中の解説の仕方、設問の仕方などを紹介する意味で第1節第1章の一部を試訳してみました。

<目 次>

第1節 個人としての人間（心理学）

第1章 必要の型

1. はじめに第1次的なこと
2. 私たちの安定した状態
3. 人間が人さまざまに振舞う理由

第2章 経験の型

1. 自己を確立する過程
2. 衝突、そして学習
3. 他人の価値

第2節 集団の一員としての個人（社会学）

第1章 行動の型

1. 集団の中の個人
2. 世の中のしくみは変わっていくか
3. 新しい生き方の実験

第2章 相互作用の型

1. 新しい役割の学習
2. 役割の交代
3. どんな行動が受容されるか

第3節 個人とそれぞれの生き方（文化人類学）

第1章 順応の型

1. 2つの生き方
2. 要求、道具、及び場面

第2章 信仰の型

1. 信仰の体系
2. 労働の価値

第3章 所属の型

1. 文化の重層構造
2. 明確な自己同一性（Identity）

第4節 政治を作り出す人間（政治学）

第1章 決断の型

1. 生き残るための決断
2. 決断する力

第2章 勢力の型

1. 個人と政府
2. 政治的な行動

第5節 環境の中で生きる人間（地理学）

第1章 習慣の型

1. 砂漠の人々
2. 人々と大地
3. 島国の社会（日本の場合）

第2章 均衡の型

1. 生産のための計画
2. 環境のバランス

第6節 生産者としての人間（経済学）

第1章 技術の型

1. 要求と生産
2. 創意，そして変遷
3. 増産

第2章 選択の型

1. 決断と価値
2. 経済学における文化的価値
3. 新しい経済的選択

（第1ページ。男子の横顔の写真があって、その下に韻文風に）

そしてある日、私たちは私たち自身の大いなる探検の途につく。

もはや、頼るべき道しるべもなく、
呼び戻してくれる声もきこえない。

私たちは、自分の城を築き、窓をあけて、
一人己の道を歩んでいかねばならない。

今から、私たちは自分自身になるのだ……
君は君に、そしてぼくはぼくに。

第1節 個人としての人間

節1.章 必要の型

（水道の蛇口から一滴の水が落ちようとしているカラー写真があって）

この水の一滴はここに至るまでにとっても長い旅をしてきました。まず、山奥の泉から湧き出て、ダムに溜められました。それから、何百キロにも及ぶ長いパイプを通して貯水池に溜められました。そこから、ポンプで吸いあげられ、水道管を通して、この蛇口までたどりついたのでした。

この一滴の水の冒険は人間の行動や人間にとって重要なことについて、何かを示唆してくれるかも知れません。人間が時間とお金をつぎこんで、そのような複雑な水道の施設を建設するのはなぜだろう。安定した生活を営んでいくために、人間は水道の建設以外にどんなことをしようとするでしょう。人間は、自分たちのそうした様々な要求を満たすために、どんな行動をとっているのでしょうか。

心理学者と呼ばれる学者たちがおりますが、彼らはそのような問題を解明しようとしている学者たちなのです。彼らは人間を研究します。観察したり、情報を集めたり、その他いろいろな方法を使っ

て、人間がいろいろな行動をする理由をできるかぎり正しく理解しようとしています。

この章では、人間の行動の仕方のうち、人間がどのように自分の要求を満たし、どのように健康や幸福を維持しているか、という点について学びましょう。そうした点についてはたくさんの実験が行なわれており、それによって、心理学者たちは人間の要求や行動についてかなり正確に理解するようになってきました。

次の二枚の写真について考えてみなさい。（一枚は余暇を楽しむ釣り、もう一枚は生活のための魚とり）どちらの人もなぜそのようなことをしていると思いますか。彼らの理由はどんな点で違いますか。どちらの人もそれぞれ何を必要としているのですか。魚釣りに行ったことのある人は、その時、自分がどういう理由で魚釣りに行ったのか、考えてみよう。

次の文を読んで、人間の一定の行動にはどんな理由があるか、いろいろ学習しよう。

1. はじめに第1次的なこと

生きているかぎり——産声をあげてこの世に生れてから死ぬまでの間——あなたは絶えず変わっていきます。成長し、学び、病気になり、また元気になります。新しい考えを抱いたり、新しい感覚を身につけたりします。一人ぼっちの時も、誰かと一緒にいる時もあります。幸せな時も、かなしい時もあります。眠っている時でさえ、あなたは変化しています。夢を見たり、時々ころげまわったり、鼻をかいたり、時にはいびきをかいたりします。起きていても眠っていても、あなたはいつも活動しています。この活動、この行動はどうして起るのでしょうか。人間が一定の方法で考えたり感じたり行動したりするのはなぜでしょう。誰もが全く同じように行動することがありますか。また、違っているのはどんな点でしょうか。このような疑問こそ、心理学者たちが解明しようと努力していることなのです。こうした疑問を解決するために、彼らは人間の必要ということについて研究しています。

生れたばかりの赤ちゃんの行動を観察したことがありますか。どんなふうに動いていましたか。赤ちゃんがどうしてそんなふうに動くのだと思いますか。

赤ちゃんのすることは、どんなことでも彼らの要求と関係があるということが分かるでしょう。赤ちゃんは呼吸したり、眠ったり、食べたり、飲んだりすることが必要なのです。また、体内で使われたいろいろなものを排出したり、体温を適温に保ったり、苦痛を避けることも必要なのです。心理学者はこのような必要なもの、つまり要求を、第一次要求と呼んでいます。赤ちゃんが成長していくには、そのような要求が満たされなければなりません。

もちろん、赤ちゃんの成長にともなってその行動も変わっていきます。睡眠の回数は生れたばかりの頃より少なくなってきました。一回に食べる食事の量は増え、食事の回数は減ります。周囲の品物や人間に対していろいろと反応していく過程で、赤ちゃんは自分のまわりのものを少しずつ理解してきているような行動を示すようになります。しかし、どんなに変化しても、赤ちゃんは第一次要求を満たされなければなりません。自分の要求を満たすためのいろいろな方法を身につけていくでしょうが、第一次要求を満たさなくてもすむようにはなりません。

第一次要求と行動

数年前、空腹が人間にどんな効果をもたらすかという調査が行なわれました。この調査には36名の方が志願して参加しました。この調査のある一定の期間だけ、志願者たちは食事の量を合衆国の人々の平均の半分以下に押えられたのです。

この調査は約一年がかりで行なわれましたが、それは三つの期間に分けられます。はじめの12週間は、志願者たちは普通に食べ、健康的な食事を取りました。この期間中に、研究を推進していた医師や心理学者たちは、栄養十分で健康な状態にある志願者たちについて情報を集めておきました。

次の期間は、最初の期間のちょうど2倍でした。24週間の間、志願者たちは飢餓状態におかれ、食事がそれまでの半分に制限されたのです。この期間中に、医師たちは最初の12週間の時の結果と比較するための情報を手に入れました。

最後に12週間という期間があってこの調査は終わりました。この期間中に、志願者たちは普通に食事を取り、もとの健康状態にもどるまで看護を受けました。

今にも餓死しそうな24週間の間に志願者たちに何が起きたか想像してごらんください。彼らは一生懸命に働くことができたでしょうか。志願者たちがどんなふうに変化していったと思いますか。

志願者たちは、少しの食事しかとらなかった期間に、身体的にいろいろな点で変化しました。からだは少ない食事に順応して、肉体的活動にエネルギーをあまり使わなくてもすむようなからだになりました。言いかえれば、からだつきはやせ型となり、食物からとり入れるエネルギーの大部分が、最低限生きていて、健康を保てればよい程度に使われることになったのです。

志願者たちの行動も変化しました。その期間がはじまってしばらくすると、彼らは食物のこと以外にはあまり注意をはらわなくなりました。彼らが話すこと、昼間夢みることと言えば食物のことだけでした。食物だけが彼らにとって注意を集中することのできるただ一つの問題になりました。余暇には料理の本を読んだり、調理の方法を学んだりするようにさえなりました。

志願者たちはユーモアのセンスをなくしてしまい、気持も沈んでしまいました。彼らはめったにお互いどうして話をしようとしなくなりました。話をするようなことがあっても、神経質で、おこりっぽく、平静を失うこともしばしばでした。服装もだらしくなくなり、自信も失ってしまいました。

この研究の結果から、食物の欠乏に対する人間のからだの反応の仕方についてどのようなことが言えるでしょうか。また、食物の欠乏が及ぼす人間の思考、感情、活動への影響についてはどのようなことが言えるでしょうか。

食物への要求というのは、もちろん、人間が持っているたくさんの第一次要求のうちの一つにすぎません。

とり肌と冷い飲み物

「誰もが皆天候のことを口にするが、それをどうにかできる人は誰一人いない。」と言った人がいました。確かに人間は天候をコントロールすることはできません。しかし、暑さや寒さに対しては反応します。右の写真の家はいずれも同じ要求に基づいて建られたものですが、その要求の満たし方はどのように違っているのでしょうか。(一つは山岳地帯の家で石壁、板ぶきの屋根の家。一つは近代的高

層建築物。一つは水上に建てられたかやぶきの家で、屋根は半分風にあおられてまくれている。))

戸外がいつもより暑いときは、人々は日かげにしようしたり、自分であおいだり、冷い飲み物をとったり、衣類をできるだけ少なくしたりします。普通より寒いときは、コートやセーターを着るとか、火を起こすとか、セーターをつけるとか、動きまわるとかして、温くしていようとします。

人間にとって体温を適温に保つことは明らかに必要なことです。暑さや寒さに対する人間の反応は食物の欠乏に対する人間の反応と同じように、単純でもあり、複雑でもあります。

冷い空気にふれた時、皮ふがどんな反応を示すか考えてみよう。この鳥肌立つという単純な反応でわたしたちのからだは体温を調節しているのです。汗をかくということも温度の変化に対する単純な反応です。すなわち、からだがかオーバーストにならないように自動的に調整しているのです。

しかし、暑さや寒さに対する反応の中には、汗をかくとか鳥肌立つとかよりも複雑なものもあります。例えば、少し暑いと感ずると、あなたは冷い飲み物を求めて台所へ行ったりするでしょう。これは自動的な反応ではありません。それは、あなたが一つの決断をし、それにのっとってとられた行動です。暑さ寒さに対するあなたの反応が単純なものであろうと複雑なものであろうと、からだがかうまく働らくように体温を適温に保つための行動であるという点では、それらは一致しています。

人間は意識することもなくたくさんの方の第一要求を満たしています。熱いストーブにさわればすばやく手を引っこめるでしょう。その時、「これはいかん！ けがをするぞ。手をひっこめた方がいいようだ。」などと考えたりはしませんね。あなたのからだがか瞬間的にシグナルを送り、「痛み」として知られているものを脳の中枢へ伝えます。それによってあなたはすばやく動作をとるのであって、その痛みをとりのぞく必要があるかないかなどと考えてから決断するではありません。あなたのからだがか自動的に反応して、あなたの代りに「決断してしまう」のです。

酸素への要求なども自動的に満たされています。眠っている間もあなたは呼吸をしつづけていますが、あなたはそれを意識したりはしませんね。

どうして眠るのか

まるまる2日たちました。ベーターは眠るまいと懸命にもがいています。彼にはそこにはないものが見えるようになります。例えば、自分の靴の中にくもの巣が見えたりします。さらに時間がたつと、くもの巣などよりもっと恐いものが見えはじめます。医師の道具一式を見て、そこらじゅうを毛虫がはいまわっているのが見えると思ったりします。この時期になると、彼の記憶はととてもひどくなり普段なら簡単に思い出せることでも思い出せなくなります。親しい友人や、有名な人の名前も思い出せないのです。彼の頭脳は非常にゆっくりしか動かなくなり、小学校5年生でもできる簡単な算数の問題すらできなくなります。

170時間たった時、ベーターは自分が誰かさえわからなくなり、付き添っている医師たちが自分を投獄しようとしていると思ひこむようになります。200時間後には、彼は想像の世界と現実の世界の区別がつかなくなり、医師たちが共謀して自分を苦しめているのだと確信するに至ります。

以上は、数年前に実際に起こったことです。ニューヨークでディスクジョッキーをしていたベーターが、小児麻痺救済募金の額を増やすために自分は200時間眠らずに起きていると放送したのが事の

おこりでした。200時間という8日間をこえる時間です。

ベーターが起きていた間、頻繁に医師や心理学者たちが彼を診察し、そのように長時間眠らないでいることが彼の健康や行動にどのような影響を与えるかを見守っていました。そんなに長時間眠らないでいた人など今までに一人もおりませんでした。人間は誰でも毎晩眠りにつきます。翌朝目をさました時、今日も調子がいいぞと感ぜられるように、誰でもたっぷり睡眠をとりたいたいと思っています。あなたの家で、最も長時間睡眠をとるのは誰ですか。誰が一番早く床につきますか。一番早く起きるのは誰ですか。

そのように観察してみると、人間はめいめい必要に応じて異った量の睡眠をとっていることに気づきますね。赤ちゃんは一般的によくさわぎ立てるものですが、特に、ひる寝をしなかった時などちょっと気に入らないことがあっても大声で泣き出します。あなたは、翌日学校があるのに、夜遅くまで起きていたことがありますか。その時、翌日、学校でどんな感じでしたか。

睡眠を十分にとらなかった場合、たいいていの人が普段と違った行動をとるものです。子供の場合、遊んでいても遊んでいるという感じがしないでしょし、友達とうまくやっていくこともできないでしょう。大人の場合は、からだがかうまく動かないということに気づくでしょう。十分な睡眠をとることが、人間の健康にとっては、十分に食事することやからだを温かく保つことと同じように重要なことだということがわかります。ではそれはなぜでしょう。

休息の要求を満たしている間にも何かそれぞれ以外のことが行なわれています。意識が休んでいても、それは完全に活動を停止しているというわけではないのです。あなたは夢を見ます。

夢を見ること：

それは第1次要求でしょうか。

誰でも夢を見るのでしょうか。あなたは、目をさましたくないほどすてきな夢とか、あるいは反対に再び眠りにつきたくないほど恐い夢を見たことがありますか。

心理学者たちの観察で、人は眠っている間、時々、閉じられたまぶたの下で目をすばやく動かしていることがある、ということが明らかにされました。こうした目の運動はRapid Eye Movement (REM) (すばやい目の動き)と呼ばれています。心理学者たちの報告によると、ある実験で、REM状態で眠っている被験者を起したら、どの被験者も夢を見ていたところだと答えたそうです。一方、REM状態ではなく眠っている被験者たちは、起されると誰もが夢を見ていなかったと答えたそうです。

そのような調査の結果、心理学者たちは人間が夢を見るのはREM状態の時なのだと考えるようになりました。REM状態の睡眠をほんのわずかでもすごせば、その時誰でも夢を見るものと考えられます。そして心理学者たちは、人間にとって夢への要求は、食物、飲み物、睡眠、呼吸、苦痛を避けることなどへの要求と同じように非常に根本的なものだとしているのです。この考えを確かめるためにある実験をやってみた心理学者たちがいます。

睡眠についてのその実験で、心理学者たちは志願した被験者たちがREM睡眠に入るたびごとに彼らを起こしてしまいました。そのようにすることで被験者たちの見る夢の総量を減らしてしまったの

です。このような処置を2・3日間続けたあとで、被験者たちにREM睡眠のときも起さずに睡眠をとらせるようにしてやりました。すると彼らは普段の時よりも80%も多い時間をREM睡眠で過ごすことになりました。

彼らが夢を見ないで何日かを過した後、突然そんなにもたくさん夢を見るようになった理由は何でしょうか。

彼らに夢を見させないようにしたことから、そのほかにもいくつかの影響があらわれてきました。すべての被験者たちがREM状態の睡眠はさまたげられはしたものの、通常の睡眠量はとっていたのです。ただ、夢を見るということが行なわれるある種の睡眠がとれなかっただけなのです。

それなのに被験者たちはいらいらしはじめたのです。彼らは集中することが困難になり、物ごとを思い出すことが困難になりました。こうした影響は、あのディスクジョッキーのパーターによって経験されたことと、どんな関係があるのでしょうか。

パーターの場合は全く眠らなかったのです。ところが、この実験の志願者たちの場合は、ただ、REM睡眠をとらなかったというだけなのです。パーターやこの実験の志願者たちに共通して満たされなかった要求は何だったのでしょうか。

夢は何を意味するのでしょうか。

心理学者たちは人間には夢を見ることが必要であり、夢を見ないでいるとからだの調子が悪くなってしまおうと信じています。なぜ人間には夢を見ることが必要なのでしょう。人間が生きていくために、しかも健康を保っていくために、夢を見ることがどのように役立っているのでしょうか。

人々は夢が何を意味するかという問題に興味を持ちつづけてきました。昔は、夢はよく占いに用いられました。海に浮ぶ船の夢を見ると、それは長い旅立ちの前兆とみなされました。

今日では心理学者たちは夢というものを別な見地から調べています。夢は、未来に起るかも知れないこととかかわりがあるのではなくて、過去に実際に起ったこととかかわりがあるとみなされています。事実、夢をよく検討してみると、覚えている夢の中の人物や場所や品物などは自分自身で経験したことと一致することに気づくでしょう。

夢は起きている時に満たされない欲望や要求をあらわしているのだと信じている心理学者たちもいます。彼らは、夢とはある種の言語だと考えています。この「言語」はいくつかのシンボルによって成り立っています。夢の中のある事物が他の事物又は感情を象徴したり意味したりします。しかし、同一のシンボルでもそれを受けとめる人によって人それぞれに異った意味をもつということがよくありますが、そういうことがある以上、夢を言語とみなす心理学者たちにしても、シンボルの意味について確信をもつことはできないのです。

夢とは、多分、人間の経験の中で最も個人的なものでしょう。誰にもあなたの夢を分け合ったり、一緒に経験したりすることはできません。にもかかわらず、夢の世界やそこにあらわれるシンボルには地球上のどこに住む人間にとっても同じように見えるものがあるのです。どうしてこういうことが起るのでしょうか。

自分で確かめてみよう

1. 自分で知っていることを使って

次の質問について考えなさい。自分自身のことばを使って答えを出すようにしなさい。そうすれば今読んだ章の要点をまとめるのに役立つでしょう。この本を参考にしてもかまいません。

- (1) 空腹の影響を調べた実験を思い出しなさい。志願者たちは身体的にどんなふうに変化しましたか。
- (2) 志願者たちの行動はどんなふうに変化しましたか。
- (3) ニューヨークのディスクジョッキー、ペーターは睡眠をとらずに起きていたことで、どのような影響を受けましたか。
- (4) REM睡眠を調べた実験を思い出しなさい。夢を見る時間をうばわれた志願者たちにどんなことが起きましたか。
- (5) 十分な食事や睡眠をとらずに過したことがありますか。その時、どのように感じましたか。また、どんな行動をとりましたか。
- (6) すべての人間は生きていくために何をしなければならないですか。

2. 友達と協力して

すべての人間が夢を見ます。しかし、誰かと誰かが全く同じような夢を見ることはありません。

次の活動で、あなたは友達と自分たち自身の夢について調べることができます。

少し時間を使って、最近見た夢で覚えていることをすべて書き出さなさい。それから、自分たちの夢について友達と話し合いをしなさい。

特に、次の質問について話し合うようにしなさい。

- ・ しょっちゅう夢を思い出せるかどうか。
- ・ あなたの夢は白・黒か、それともカラーか。
- ・ 夢の中でいつも自分が中心人物かどうか。
- ・ 自分が登場しない夢を見たことがあるかどうか。

昔、夢を占いに使う人々がいたということを思い出しなさい。今では、心理学者たちは、夢は過去に既に起ったことに基づくものだと考えています。自分で書き出した夢について考えてみなさい。そして、自分のグループの人と話し合いなさい。

- ・ あなたの夢は既に経験したこととして考えられますか、それともこれから起ることとして考えられますか。
- ・ あなたの夢には何らかの意味がありますか。
- ・ あなたは、夢に見たことが後で実際に起ったという経験がありますか。

自分たちのグループで話し合ったことを他のグループの人達にも発表し、お互いに話し合いの成果を分け合いなさい。グループ内で書き出された夢のいくつかをクラス全体に読んでやるのもいいし、夢の意味についてグループ内で出した結論を発表するのもいい。

3. 説明してみよう。

この章で使われた重要な術語がいくつかあります。これらの術語を使わなくても人間や社会について話したり書いたりすることはできますが、それらを使うことによって、自分の考えを他の人たちにによりよく理解してもらえることになるでしょう。次の術語を自分自身のことばで説明してみなさい。

行動 第一次要求 REM睡眠 シンボル

4. 自分自身をテーマにして

3日間日記をつけて、自分の生活の中で食物への要求がどんな重要性をもつかという点について記録をとってみよう。食べる時は、その時刻と何を食べたかを必ず記録しよう。また、食物が自分の考えや行動に影響を与えるようなことがあったらそのことも必ず記録しておこう。

日記は次のような調子になるでしょう：

7：30 A.M. 軽い朝食、学校に遅刻。11：05 A.M. 食堂では昼食に何を作っているかな、と思案する。おなかがすきはじめ、少し落ち着かなくなる。注意が集中できなくなってくる。

3日間の最後に自分の日記を研究してみなさい。食物への要求を満たす方法という点で、自分自身の型がみつけれられるかも知れません。友達が自分と同じ型を示すと思いますか。同じという場合も違うという場合も、それはどうしてですか。

(以上、第1節、第1章の1のみを紹介しました。原書はカラー写真も豊富に載せてあり、わかりやすい英文で書かれており、装釘も非常にしっかりしていて、実にデラックスな教科書です。

J. S. ブルーナーは「教育の過程」の中で「どの教科でも、知的性格をそのままにたもって、発達のどの段階の子どもにも効果的に教えることができる」という仮説を立て、「これは、教育過程というものを考えるうえで、大胆で、しかも本質的な仮説である。」と述べていますが、ここに紹介した教科書はまさに、ブルーナーの仮説を具体的に示してみせてくれたもののように思われます。

私のつたない日本語で紹介したために、原書のすばらしさを著しく傷つけてしまったことを深く恥いている次第です。)